

2月定例月議会における議案に対する意見募集

No.2 介護予防等拠点施設関係事業

高齢化の進行に伴い、健康寿命の延伸や認知症施策の推進が重要な課題となるなか、老人福祉センター（日永東一丁目）を介護予防及び認知症支援の機能を持った拠点施設に転換し整備することで、高齢者の生活機能の維持・向上や認知症の人と家族に対する支援の拡充を図るものです。

今回の事業に対するご意見を募集します。

1 内容

- (1) 訪問型サービスC事業費、通所型サービスC事業費 17,709千円
拠点施設に配置した理学療法士が、フレイル傾向にある高齢者に対して、短期間（原則3カ月間）、生活機能向上のための指導を行うとともに、各地域での介護予防活動（通いの場など）への橋渡しを行う。
- (2) 介護予防普及啓発事業費 1,017千円
拠点施設に配置した理学療法士が中心となり、定期的に講座を実施するとともに、広く市民に介護予防を啓発するイベントを実施する。
- (3) 認知症地域支援・ケア向上事業費 19,184千円
認知症に関するワンストップ窓口として、拠点施設に配置した認知症地域支援推進員等の専門職が、認知症の人や家族等からの相談に応じ、必要な支援につなげる。
また、認知症の初期段階にあり、介護保険サービス等の対象となりにくい人等を対象に、本人ミーティング、ピアサポート、社会参加活動の体験等を実施し、認知症カフェ等の情報も提供しながら各地域の活動への橋渡しを行う。
- (4) 介護予防等拠点施設管理運営費 18,798千円
新施設の維持管理にかかる業務を行う。

※(1)～(3)にかかる業務は、これらを一括して実施できる医療法人等に委託し、(4)の業務については、従来から、四日市市老人クラブ連合会の支援を行うとともに、施設の維持管理業務を担ってきた四日市市社会福祉協議会へ委託して実施する。

2. 予算額 56,708千円

(財源内訳) 国庫支出金 (38.5/100・25/100)	12,025千円
県支出金 (19.25/100・12.5/100)	6,013千円
その他特財 (27/100・23/100) (介護保険料等)	18,419千円
一般財源	20,251千円